

西の丸御蔵城宝館企画展

「文化財を伝える」

開催要項

1. 名称

西の丸御蔵城宝館企画展「文化財を伝える」

2. 趣旨

名古屋城では名古屋城や近世武家文化に関わる資料を継続的に収集、保管しています。こうした資料は、時代の変遷の中で様々な人によって残されたものや、さらに、市民の皆様によって守り伝えられてきたものもあります。

焼失前の名古屋城を記録したガラス乾板写真や昭和実測図は、当時の人々が名古屋城を後世に伝えるために作成したものです。このおかげで、戦後の高い水準での修理や整備・復元事業が可能となっています。

また、刀剣は近世武家文化を語るうえで欠かせない資料であり、その保存と継承を目的として活動する日本美術刀剣保存協会名古屋支部の会員が所蔵する刀剣類を紹介します。

文化財は多様な人々の思いと活動により守り伝えられます。そうした一端を紹介します。

3. 主催

名古屋城総合事務所

4. 出品協力

日本美術刀剣保存協会名古屋支部

5. 会場

名古屋城 西の丸御蔵城宝館（名古屋市中区本丸1番1号）

6. 会期

令和6年9月14日(土)～10月14日(月・祝)

会期中は無休（ただし、催事等で変更になる場合があります。）

7. 開館時間

午前9時～午後4時30分（最終入館午後4時）

8. 観覧料

無料

※名古屋城観覧料500円（名古屋市内在住65歳以上100円・中学生以下無料）が必要です。

9. 内容・構成

第1部を主に名古屋城総合事務所所蔵のガラス乾板写真と昭和実測図、第2部を日本美術刀剣保存協会名古屋支部会員所蔵の刀剣類として、文化財を守り伝える活動を紹介します。

第1部= 文化財を記録する（ガラス乾板写真と昭和実測図）

名古屋城が保管する資料のなかで重要なものとして、焼失前の名古屋城を記録したガラス乾板写真と昭和実測図があります。これらは当時の人々が名古屋城を後世に伝えるために作成し、このおかげで戦後の修理や整備・復元事業が高い水準で可能となっています。さらに、これらの記録は、名古屋城の素晴らしさや歴史を伝える、記録をこえた文化財となっています。

<出品資料> ガラス乾板写真、昭和実測図など

第2部= 刀剣を受け継ぐ（第48回 名古屋城刀剣展示会）

明治維新や第二次世界大戦の敗戦による社会変革によって武家や公家などの旧所蔵者から手放された刀剣類を、現代において保存と継承を目的に市民が所蔵することを日本美術刀剣保存協会名古屋支部の活動を通して紹介します。

<出品資料> 刀剣および拵など

10. 主な出品資料

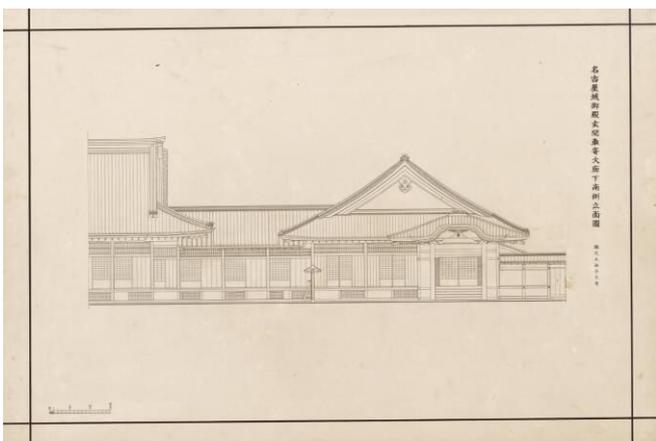
- ・ガラス乾板写真「本丸敷地内建造物（焼失）俯瞰」 昭和 30.5×25.4cm
名古屋城総合事務所蔵 <参考図版あり>
- ・昭和実測図「名古屋城御殿玄関車寄大廊下南側立面図」 昭和 68.0×98.5cm
名古屋城総合事務所蔵 <参考図版あり>
- ・「刀 無銘 則長」 鎌倉時代 2尺4寸1分（73.0cm） 個人蔵

※出品資料の詳細は名古屋城公式ホームページにてご確認ください。

<参考図版>



ガラス乾板写真
「本丸敷地内建造物(焼失)俯瞰」
昭和 30.5×25.4cm
名古屋城総合事務所蔵



昭和実測図
「名古屋城御殿玄関車寄大廊下南側立面図」
昭和 68.0×98.5cm
名古屋城総合事務所蔵

11. 担当

〒460-0031

愛知県名古屋市中区本丸1番1号

名古屋城総合事務所 名古屋城調査研究センター

副所長 瀬川 貴文

TEL:052-231-2481 FAX:052-218-5335